

横山幸次

区政報告
ニュース

515

2013年9月22日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax3806-9246
✉ arajcp@tcn-cat
v.ne.jp
町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
3895-0504
✉ yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホーム
ページ・ブログをご覧
下さい。「横山幸次」
で検索して下さい。

学童クラブと放課後子どもプラン… 放課後の生活と遊びの場はどうなる

放課後の 子ども達…

五峡小と大門小の放課後は… 生活の場としての学童クラブの役割は重要

小学生の放課後の遊びや居場所づくりの「にこにこスクール」が順次各学校に設置されています。しかし、必要な指導員の配置とロッカールーム、子どもたちが横になったりできる場所も必要です。教室不足で開設できなかったり、指導員のロッカールームや子どもたちの専用スペースも十分でも、とにかく実施に踏み切った学校もあります。本来の学校活動との兼ね合いも課題です。



学童クラブも「にこにこ」も どちらも大切にして充実を

共働きも増え、地域の遊び場もなく、学童保育クラブ、放課後子どもプラン（にこにこスクール）もそれぞれ大切になっています。にこにこスクールは、帰宅時間も子ども都合でよく、利用も週2～3日が多いようですが、親も安心です。

学童保育クラブは、「保育に欠ける」子どもたちの生活の場となっており、特に、夏休中の生活リズムをしっかり支えるために、保育料もおやつ代も負担しています。一部の会派から財政効率優先で施設整備も不十分なまま「にこにこスクール」を実施、学童保育クラブを一体化して吸収すべきという声もありますが、それは違うと思うのです。それぞれの役割にふさわしく充実してこそ、真に子どもを大切にできる地域になると思うのです。

今年町屋地域では、大門小でにこにこスクール開設。学童保育クラブも「にこにこ」もどちらも大切にして充実を

来年度実施予定の瑞光小学校では、家庭科準備室の一部を指導員室として確保。子どもたちの静養スペースの確保も難しそう。いま学校の役割が大きくなっています。以前は、子どもたちの拠点・児童館が地域にありましたが、それもふれあい館になっています。子どもの居場所が、学校だけでよいのかも問われます。



学童保育クラブの隣室（上写真、下は荷物置き場）にカーペットを敷き、低学年や体育館のチャランバラっこ（左上写真）などで走りまわると子どもたちの元気な姿が見られます。



裏面 リサイクルセンターの建設...など

定例法律相談会

10月7日(月)

午後6時～8時

横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介します。

生活相談は、随時受け付けています。

TEL&FAX 3895-0504

不在時は、留守電へ、後で連絡します。

区役所控室 3802-4627

「まちの話題あれこれ」
この夏の猛暑はどうでしたか？区役所も緑のカーテンなどそれぞれに政府から節電メッセージはなく原発推進と輸出っておかしくない？

今夏の猛暑はどうでしたか。もうウンザリというのが共通の気持ちでは？夏は暑いのが当たり前とはいえ、今般の暑さは尋常ではありません。ところで東京は、今年の夏も原発無しで乗り切ることができました。区民の中でも節電の取り組みが定着しています。いまだに福島第一原発事故は収束もせず大量の汚染水をコントロールできないままです。原発ゼロの選択

以外に道がないのではないのでしょうか。ところで、今夏は政府から節電のメッセージが聞こえませんでした。聞こえてきたのは原発推進と輸出のかけ声：原発事故などなかったかのように… 横山幸次



上は、共産党控室外の緑のカーテン。下は本庁舎正面の緑のカーテンと下白枠内に太陽光発電パネル設置



